

福祉

わかやま

この広報誌の発行に
一部共同募金配分金
を利用しています。

特集
2-3

コロナ禍での福祉人材の育成について



- 4 ・ 介護人材再就職準備金貸付のご案内
・ 第1回福祉・介護・保育の就職フェアわかやま(オンライン)、
介護未経験者向け研修会・就職相談会開催のご案内
- 5 ・ 第25回介護支援専門員実務研修受講試験のご案内
・ 苦情解決のツボ
- 6 ・ 地域福祉活動紹介 すさみ町民生児童委員協議会
・ 赤い羽根共同募金
- 7 ・ 情報案内コーナー
- 8 ・ ㊦ ㊧ ㊨ トレジャー

新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」という。)の拡大により、それまで当たり前に出ていたことが次々と制限・自粛され、働き方・学び方・人の移動等様々な面で大きな変化を伴いました。そのような状況下でも、福祉施設で働く職員の方々は、日々工夫を重ね利用者に対し安心・安全な福祉サービスを提供するため頑張っています。県社協では、福祉職場で働く方々を支援するため、各種の研修・イベント等を実施してきましたが、令和2年度は、コロナの影響から開催延期や中止を余儀なくされました。

その経験を踏まえ、令和3年度よりコロナ禍でも人材の育成や職員の学びを止めず、必要な研修機会を確保するため、感染リスクのないオンライン研修を導入してきました。

今回は、オンライン研修導入から1年が経過し、見えてきた課題やオンライン研修のメリット・デメリット、研修受講者(事業所)の声等を踏まえ、「Withコロナ」時代の人材育成のあり方について考えていきます。



【来場型研修】認知症ケア研修



【オンライン研修】キャリアパス対応生涯研修課程(初任者研修)

オンラインでのメリット・デメリット

	メリット	デメリット
来場型研修	<ul style="list-style-type: none"> ○講師の熱意、会場の臨場感等が体感できる環境 ○講師及び他の受講生と積極的に意見交換・交流が図られる ○受講に際し、必要な機材等の購入はほとんどない 	<ul style="list-style-type: none"> ○会場までの移動時間及び旅費がかかる(同一事業所で複数人参加の場合、負担が大きい) ○感染のリスク有り ○着席場所によっては、講義が見えにくい又は聞こえにくい可能性有り
オンライン研修	<ul style="list-style-type: none"> ○移動の時間がない(研修実施の時間のみ拘束) ○感染のリスク無し ○講義が聞きやすい、又資料のデータ等が見やすい(通信環境が完全な場合による) 	<ul style="list-style-type: none"> ○PC・カメラ・通信環境等の整備が必須(通信環境の不具合で受講できなくなる可能性有り) ○操作に慣れが必要 ○講師及び他の受講生との活発な意見交換・交流が難しい ○集中力が散漫になる可能性がある
ハイブリッド(来場・オンライン併用)	<ul style="list-style-type: none"> ○来場型とオンライン双方のメリット、デメリットが考えられる ※実施するにあたり、事務局スタッフ及び使用する機材が多く必要 	

コロナの影響により、移動やイベントの開催が制限され、人と人の距離を保つことが求められる中、オンライン研修などのICTを活用した新たな開催方法の普及が急速に進みました。

オンライン化によって研修場所の調整が不要となり、移動経費や時間・手間などが削減できる、感染のリスクが無い等のメリットがある一方で、参加者のモチベーションを維持するような交流や、コミュニケーションが不足する可能性もあるといえます。また、集合して研修を行っていた時には、気軽に入っていた疑問点への質問なども、オンライン上では「タイミングが難しい」などの課題が挙げられます。そのような課題の解決策として、研修の効果向上のために、相手のリアクションをできるだけ引き出せるようなシステムの構築により、一方通行にならないことや双方向のやりとりを意識し、リアルタイムでコミュニケーションが取れる仕組みの強化が必要と考えます。

受講者・事業所の様々な声

受講者・事業所からの様々な意見から、オンラインの良し悪しが伝わってきました。

肯定的な意見

- 感染の恐れがないため、安心して受講できた
- 周りを気にせず、集中して受講できた
- 研修の直前、直後に業務ができてよかった
- 遠方で、今までは研修に参加できなかったが、オンライン開催であったため、参加できた



否定的な意見

- 操作になれていないため、受講しづらかった
- 担当者同士の横のつながり(コミュニケーション)が取りづらい
- オンラインに対する苦手意識がある

その他の意見

- 感染症の有無に関わらず、オンラインと対面の両方を選択できるようにしてほしい
- 仕事が多忙な際はオンラインの参加を検討したい

オンライン研修導入1年を経て

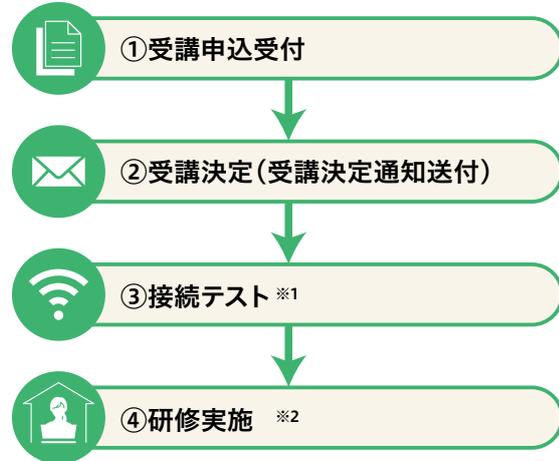
県社協では、福祉職員一人ひとりが福祉に関わるプロフェッショナルとして、専門知識や技術を習得し、働きがいと誇りの持てる職場環境づくりとキャリアアップの道筋を支援するため、研修については階層別研修・課題別研修(専門技術研修、組織支援研修)・資格取得支援研修に分け、実施しています。そして、これらの研修を通じ、職員の資質向上を図ることで、働きやすい職場づくりや人材確保・定着に繋がりたいと考えています。

オンライン研修導入当初は、受講者への連絡や当日の運営等、手探りの状態が続き、受講者もオンライン研修ツールの操作に戸惑われている場面が多く見受けられました。そこで、受講者が安心してオンライン研修を受講してもらえるよう、「オンライン操作マニュアル」を作成のうえ、受講者宛に毎回配布するとともに、研修1週間前には、接続テストを実施し、基本的なオンライン操作の説明を行ってまいりました。

今では、一度に複数の方に参加いただいている事業所も多くあるなど、オンライン研修が県内事業所にとって、ごく当たり前の光景になってきたように感じます。

今後は、受講者にオンラインと来場型のどちらかを選択いただくハイブリッド型が主流になるかもしれません。しかし、ハイブリッド型の場合、準備等に係るスタッフの人数、講師の負担、会場とオンラインでの参加者の間で活発な意見交換やグループワーク等が行われるのか等新たな課題も見受けられます。

オンライン研修の申込みから 研修当日までの流れ



※1 研修日当日、「オンラインでの参加の仕方がわからない」・「音声が届かない」・「映像が途切れる」等が起こらないよう、事前に接続テストを行っています。

※2 研修終了後、上手くいかなかった点を見直しのうえ、改善を図り次回の研修に繋がっています。

コロナ禍における人材育成

外部研修に参加する意義の一つに、事業所・分野を超えて様々な立場の職員がともに学び、自身のキャリアを振り返り、描いていく経験を持つことが挙げられます。また、日常の業務から離れた交流により、専門職として自己検証を図り学び続ける姿勢を作ることも、研修の大切な目的の一つとなっています。こうした経験や姿勢を一人ひとりの職員が持つことで職場全体が活性化し、働きがいのある職場の雰囲気を生み出し、人材定着にも繋がっていくと考えます。

年々福祉・介護のニーズが多様・複雑化するなかで、質の高い福祉サービスを提供するためには、人材確保と共に、職員の専門性の向上を図ることが必要不可欠です。それは、コロナ禍での多忙な業務・厳しい人員体制を強いられる中でも怠ることはできず、各事業所におけるOJT(職場内研修)や、外部研修への参加等を組み合わせ、職員が学ぶ機会を作り続けることが必要です。

そのためには、事業所は、職員の資質向上を各々の自主性に任せるのではなく、人材育成を事業所の健全な運営及びサービスの質の向上のための取組の一環と位置付け、やりがいや仕事を通じたキャリアアップの実現を後押しするため、組織としてキャリアパスに沿った人材育成システムの構築に努める必要があるのではないのでしょうか。

県社協では、様々な階層別・課題別研修プログラムを用意し、コロナ禍に対応するため、オンライン研修(ライブ配信)と来場型研修、ハイブリッド開催(オンラインと来場型併用)を組み合わせ、研修計画を立てています。

各事業所で、研修計画等を立てられる際は、ぜひご活用ください。



お問合せ先 **福祉人材研修部 研修班** TEL:073-435-5210

返済免除

介護人材再就職準備金貸付けを
実施しています

県社協では、介護福祉士等の資格をお持ちの方で、県内の介護施設・事業所に再就職する際の準備金の貸付けを実施しています。

貸付金は、県内の介護施設・事業所で、引き続き2年介護業務に従事した場合、返還が免除されます。

貸付限度額

金40万円以内(1回限り) ※無利子

貸付けの対象となる方

県内の介護施設・事業所に就労された方で、次の①から⑤のすべての要件を満たしている方。

- ①和歌山県福祉人材センターに氏名・住所などを届出・登録している方
- ②次のいずれかの資格等を有する方
介護福祉士、介護福祉士実務者研修修了、介護職員初任者研修修了、旧研修課程(介護職員基礎研修、ホームヘルパー1級または2級)修了
- ③右記②に掲げる者として、介護保険サービス事業所等において介護職員その他主たる業務が介護等の業務である者としての実務経験を1年以上有する方

④直近の介護職員等としての離職日から、介護職員等として再就職する日までに1か月以上経過している方

⑤介護保険サービス事業所等に、常勤(注)の介護職員等として再就職が決定した方(既に就職している方を除く)

(注)「常勤」＝事業所が定める所定労働時間をすべて勤務する職員
※借入申込みにあたり、連帯保証人が必要です。

借入申込手続き

県社協のホームページから、借入申込書類一式を、県社協あて提出してください(再就職が決定した施設・事業所の長の推薦が必要です)。

※貸付審査等がありますので、すべての方に貸付けを行えるわけではありません。
※募集人数に達した時点で募集を終了します。

お問合せ先

地域福祉部 生活資金班

TEL:073-435-5223

第1回 福祉・介護・保育の就職フェアわかやま(オンライン)

福祉分野への就職を希望される方々を対象に、社会福祉施設等とWEBを活用した就職フェアを開催します。

- 日時 7月2日(土)13:00～16:00
- 会場 和歌山ビッグ愛1階 大ホール(和歌山市手平2-1-2)
※求職者(会場)と求人事業所をオンラインでつなぎ、個別面談を行います。
- 内容 ○個別面談(13:00～16:00)
○福祉人材センター相談コーナー(13:00～16:00)
- その他 ○参加費無料
○粗品進呈

●新型コロナウイルス感染予防のため、ご来場の際はマスクの着用等についてご協力をお願いします。

※詳細は下記QRコードより本会HPへアクセスし、就職フェア特設サイト(6月中旬公開予定)をご確認ください。



就職フェア・就職相談会
のお申込み・お問合せ先

県福祉人材センター「ハートワーク」(県社協内)
TEL:073-435-5211

介護未経験者向け研修会
のお申込み・お問合せ先

県介護普及センター
TEL:0739-22-6589

介護未経験者向け
研修会・就職相談会
和歌山会場



家庭でも活かせる・受講料無料

介護未経験者に向けた入門的な研修会を開催します。介護者としての必要最低限の知識・技術が身に付く内容となっており、自らの健康維持や家族介護にも役立ちます。研修会の最終日には、未経験者でも安心して仕事を始められるよう就職相談会を実施します。就職相談会への参加も可能です。

受講対象者 県内の介護現場で就労を希望する方・介護や介護の仕事に少しでも興味のある方

定員 研修会:10名程度(先着順) ※就職相談会は定員なし(当日参加可能)

日時/会場

	研修会	就職相談会
日時	8月27日(土) 9:30～16:20 8月28日(日) 9:30～15:00	8月28日(日) 15:00～16:30
会場	和歌山県労働福祉会館プラザホープ 3階 会議室1・2	和歌山県労働福祉会館プラザホープ 3階 特別会議室

第25回介護支援専門員実務研修受講試験のご案内

試験の目的 介護支援専門員実務研修受講希望者に対して、介護支援専門員の業務に関する演習等を主体とする実務的な研修を行うに際し、事前に介護保険制度・要介護認定等・居宅サービス計画等に関する必要な専門知識等を有していることを確認するための試験です。

試験日時 10月9日(日) 10:00～12:00(全国一斉)

試験会場 【紀北】和歌山ビッグ愛 【紀南】和歌山県立南部高等学校

「受験の手引き」の配布

5月23日(月)～6月17日(金)(土日を除く) 下記の窓口で配布しています。

- 和歌山県社会福祉協議会
- 和歌山県庁 長寿社会課
- 各振興局 健康福祉部 総務福祉課(串本支所含む)
- 各市町村 介護保険担当課

受験資格 (1)国家資格等を取得後、登録してからの業務に従事した期間が5年かつ900日以上ある方。
(2)施設等において、法により必置とされる相談援助業務に従事した期間が5年かつ900日以上ある方。
※詳しくは「受験の手引き」でご確認ください。

申込受付期間 5月27日(金)～6月17日(金)(当日消印有効)

※受験資格、必要書類等を「受験の手引き」でご確認のうえ、所定の封筒を使用し、簡易書留により、和歌山県社会福祉協議会あてお申し込みください。

受験手数料 8,800円

お問合せ・
申込書提出先

福祉人材研修部

〒640-8545 和歌山市手平2丁目1-2 和歌山ビッグ愛7階 TEL:073-425-6620(試験専用)
mail:keamaneshiken@wakayamakenshakyō.or.jp

※お問合せは、月曜日から金曜日(祝日を除く)9:00～12:00、13:00～17:00にお願いします。

※受験資格については、提出書類をもとにした確認が必要なため、電話等によるお問合せには、明確にご回答出来ない場合があります。



事業所の苦情解決体制について、 確認しましょう。

苦情解決責任者
施設(事業所)の
長や代表者等で、
全体を総括できる
立場の方を選任し
ます。

確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応がなされること
が第三者委員の設置目的です。
民生委員・児童委員、大学教授、
弁護士など世間からの信頼性を有する方で、中立・公正性を確保
するため複数名設置が望ましい
とされています。

苦情解決体制の周知

県福祉サービス運営適正化委員会では、各事業者で苦情解決の
仕組みが整備されるよう、事業者
等を対象に出前講座(事業所の職
員研修への講師派遣)を実施して
います。

また、事業所の苦情解決体制の
周知用ポスターを無料で配布し
ています。
詳しくは左記までお問合せく
ださい。

苦情受付担当者

苦情受付の窓口として、ある程
度責任ある立場にある中堅職員を
選任します。
相談援助スキルを持ち、苦情に
対し、冷静に受け止め、傾聴できる
方が望ましいとされています。
男女複数名設置するなど、利用
者が苦情・相談を申しやすい環
境を工夫することが求められます。

第三者委員

苦情解決に社会性や客観性を

お問合せ先

県福祉サービス運営適正化委員会

TEL:073-435-5215
FAX:073-435-5584

ひとづくり まちづくり ゆめづくり

〈すさみ町民生児童委員協議会の取組〉

笑顔でつながる 地域づくり



育児サークルの様子(令和元年撮影)

民生委員・児童委員は、地域住民の身近な相談相手として、支援を必要とする住民と関係機関をつなぎ、地域の見守りや相談・支援等の活動を行っています。

今回は、すさみ町民生児童委員協議会の取組について、同協議会会長の松下明さんにお話を伺いました。

すさみ町民生児童委員協議会活動は、どんな特徴がありますか？

すさみ町は人口約四千人の小さな町で、住民同士の見える関係にあると思っております。平成29年度から10年間を目的に「すさみ町民生児童委員協議会活動強化方策」を作り、自分たちのできることで、取り組んでいくことをまとめました。この策定プロセスそのものが民生委員・児童委員にとって、とても大切な作業だったと感じています。

私たちは、地域の「つなぎ役」として、相談を受けた際は一人で抱え込まず、包括支援センターや社会福祉協議会等の関係機関につなぐ活動を心掛けています。制度につなぐ前に、民生委員・児童委員が困りごとを抱えた住民と、まずつながる(信頼関係を結ぶ)ことで、必要な支援につながると考えています。活動のなかで、「おせっかい」は大事なことです。それを進めていくと、支援を必要としながらもつながりを避けていた住民が振り向いてくれることがあるのです。

民生委員のなり手不足についてはどう感じていますか？

新しい民生委員のなり手を見つけることも必要だと考えていますが、同時に先輩民生委員の「地域への思い」を伝えていくことが大切だと思います。

例えば、4月上旬、新一年生が毎朝お母さんと一緒に登校するところを見守っていた民生委員から、一週間後にはその小学生が一人で登校できるようになり、成長を感じたと喜んでいました。

このような思いから、すさみ町民生児童委員協議会・広報部会では、町役場と連携して町広報誌に民生委員・児童委員の日々の活動やちよっとしたエピソードを連載で紹介してもらえるように取り組んでいます。

「地域つて本当に素敵なんですよ。」私は活動する民生委員・児童委員にそれをいつも伝えていきます。



通学路で子どもたちを見守っています

すさみ町民生児童委員協議会 事務局

お問合せ先
TEL:0739-15514804



令和3年度 赤い羽根共同募金の結果報告

県民の皆様方には、赤い羽根共同募金運動にご協力を賜り誠にありがとうございました。

令和3年度赤い羽根共同募金には1億2,488万円の寄付金をお寄せいただきました。

令和3年度は新型コロナウイルスの影響等による募金実績額の挽回を図り、コロナ禍で複雑・多様化する福祉課題への支援をすべく初めてダイレクトメールでの募金のご協力依頼をさせて頂いたりもいたしました。おかげさまで県民の皆様のおかげで、ご協力誠にありがとうございました。

お寄せいただいた寄付金を財源として、令和4年度に実施する和歌山県内の福祉関係事業支援のために活用させていただきます。

引き続きご支援の程、よろしくお願いいたします。

令和3年度赤い羽根共同募金助成先

- 民間福祉施設 1413万円
- 特定非営利活動法人 137万円
- その他福祉関係団体 408万円
- 社会福祉協議会 6490万円
- テーマ型募金活動団体 143万円
- いのちをつなぐ支援活動 250万円
- 災害等準備金 366万円

過去の活用事例は、ウェブサイト「赤い羽根データベースはねっと」ウエブアドレス <https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home> に掲載しています。

お問合せ先

社会福祉法人
和歌山県共同募金会
〒640-8319
和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ
和歌山ビッグ愛7階
TEL:073-435-5231
FAX:073-435-5232

赤い羽根 わかやま



メール info@akaihane-wakayama.or.jp
HP <https://www.akaihane-wakayama.or.jp/>



情報案内 コーナー

令和4年度 紀の国いきいき健康長寿祭 兼:第35回全国健康福祉祭(ねんりんピック愛媛2023) 選考会を開催します。

開催区分	種目	開催場所	開催日程	予備日	参加募集定員
スポーツ交流大会 ねんりんピック 愛媛2023 出場選手選考会	グラウンド・ゴルフ①	河西緩衝緑地公園サッカー場(和歌山市)	9月5日(月)	10月17日(月)	300名(先着順)
	ペタンク	河西緩衝緑地公園野球場(和歌山市)	9月9日(金)	9月28日(水)	64チーム(先着順)
	グラウンド・ゴルフ②	南山スポーツ公園(日高川町)	11月29日(火)	12月13日(火)	280名(先着順)
	ゲートボール	野口ゲートボール場(御坊市)	12月8日(木)	12月9日(金)	30チーム(先着順)
ねんりんピック愛媛2023 出品作品選考会	グラウンド・ゴルフ③	潮岬青少年の家(串本町)	12月15日(木)	12月23日(金)	200名(先着順)
	シルバー美術展	和歌山ビッグ愛1階展示ホール(和歌山市)	令和5年2月17日(金)~20日(月)		

※スポーツ交流大会は7月頃、シルバー美術展は10月頃、正式に各市町村、各市町村社会福祉協議会、市町村老人クラブ連合会等に開催要領を送付させていただきます。

お問合せ・お申込先 **いきいき長寿社会センター(県社協内)** TEL:073-435-5214 FAX:073-435-5221

申込受付中 福祉人材キャリア形成支援研修

発達障がい児・者処遇研修(基礎編)

開催日時/6月30日(木) 10:25~16:00
会場/オンライン 受講申込期限/6月9日(木)(必着)

職場研修担当者研修

開催日時/7月5日(火) 10:25~16:00
会場/和歌山ビッグ愛 受講申込期限/6月14日(火)(必着)

介護支援専門員試験対策勉強会I 介護支援専門員試験対策勉強会II

開催日時/(I)7月13日(水)・(II)7月21日(木) 両日共10:25~16:00
会場/和歌山ビッグ愛・オンライン(併用)
受講申込期限/6月22日(水)(必着)

認知症ケア研修

開催日時/7月19日(火) 10:00~16:00
会場/和歌山ビッグ愛 受講申込期限/6月28日(火)(必着)

発達障がい児・者処遇研修(応用編)

開催日時/8月2日(火) 10:25~16:00
会場/オンライン 受講申込期限/7月12日(火)(必着)

児童の権利擁護・虐待防止研修

開催日時/8月10日(水) 10:25~16:00
会場/和歌山ビッグ愛 受講申込期限/7月20日(水)(必着)

アンガーマネジメント研修 アサーティブコミュニケーション研修

開催日時/アンガー:8月16日(火)・アサーティブ:8月17日(水)
両日共10:25~16:00
会場/和歌山ビッグ愛 受講申込期限/7月26日(火)(必着)

※研修の受講には、受講料がかかります。※定員(先着)になり次第締め切ります。
※県社協会員は、会員価格で受講いただけます。
※詳細は県社協ホームページをご覧ください。直接お問合せください。



お問合せ先 **県福祉人材センター「ハートワーク」(県社協内)**
TEL:073-435-5210



※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止になる場合があります。

保育士応援カフェ

★お子様と一緒に
参加できます★



保育のお仕事についてお話をするサロンを開催します。

日時/6月22日(水) 13:30~15:30
会場/よりみちサロンいおり
オークワパビリオンシティ 田辺レストラン街
(田辺市稲成町新江原3165)

お問合せ先 紀南福祉人材バンク

TEL:0739-26-4918



※新型コロナウイルス感染症等の状況によっては、中止又は変更になる場合がありますので、下記あて最新の情報をご確認下さい。

高齢者の生きがいづくり わかやま元気シニア生きがいバンク



豊富な知識や経験、資格や技能を持った高齢者がたくさん登録されています。地域でのお手伝い、イベントや学習会、学校行事などで活用してみませんか!

人材を探す 活動のご依頼
バンクへの登録 **WEBで検索!**

わかやま元気シニア生きがいバンク

検索

お問合せ(土・日・祝日を除く、9時~17時まで)

わかやま元気シニア生きがいバンク
☎073-435-5214

ご寄附ありがとうございます。

とうようふうかんさいはんばい
東洋羽毛関西販売株式会社 様
ぜんごくうたまるかい
一般社団法人 全国哥磨会 様

県域での社会福祉事業の進展に資するために、本会にご寄附いただきました。心から御礼申し上げます。



左から一般社団法人全国哥磨会田島会長、県社協川口事務局長



地域の宝物見つけた!!
 ~「ふくし」は「ふだんのくらしのあわせ」~
 このコーナーでは地域のふくしを支え
 トレジャー
 る宝物(人・物・笑顔)を紹介します。

麦ストローで農福連携



ファームゆうき
 かたおか
片岡 かおりさん
 住 所: 岩出市西国分156
 T E L: 073-463-7615
 F A X: 073-463-7615

今回は岩出市で有機農園「ファームゆうき」を立ち上げ、麦ストローで農福連携に取り組まれている片岡かおりさんにお話を伺いました。
「ファームゆうき」に込めた想い
 県外の障害者乗馬クラブで勤務していましたが、自身が体調を崩したことや、家族の病気をきっかけに食について深く考えるようになりました。
 大切な人を、美味しく安全な野菜で元気にしたいとの想いから農業の道に進むことを決めました。
 農業研修や農業生産法人での経験を経て、今から7年前に有機農産物を生産する「ファームゆうき」を設立しました。
麦ストローの誕生
 ある時、土壌改良用に栽培していた麦を見た友人から麦がストローになることを聞きました。麦ストローは麦の茎部分の節を避けて適当な長さに切り、皮をはぎ、煮沸消毒し、乾燥させると完成です。
 元々、農福連携をしたいと考えていたこともあり、麦ストローを農福連携のモデル的な取組として始めました。農家が材料を栽培、福祉施設で加工、小売店で販売、飲食店で使ってもらおうという一連の流れで多くの協働が生まれます。障がいがある方に一方的に作業を頼むというのではなく、協力し合い、一緒に作り上げていく過程はとても充実したもものなっています。
 また、麦ストローは麦を乾燥させておけば、いつでも製造可能であり、使用期限もありません。農家や福祉施設の負担が少ないです。

麦ストローの製造マニュアル
 この取組を多くの方に広めたいと思い、農福連携による麦ストローの製造マニュアルを作成しました。希望があればマニュアルをお渡しします。是非皆様に活用いただきたいです。
麦ストローの魅力
 麦ストローは、環境にやさしく、生産者から消費者まで、みんなが環境問題を意識することが出来ます。
 小売用と業務用があるのですが、一本一本微妙に長さや柄が異なることも良いと思っています。
 また、口当たりが良く、飲み物の味を損なわず、何度でも使うことが出来ます。

取材後記
 この取組は、農福連携と環境問題が結びついたものであり、時代に沿ったものとなっています。この取組が広がることを願う片岡さんの想いを強く感じることが出来ました。

麦ストローの購入について
くちたちshop+cafe
 住 所 / 和歌山市出口甲賀丁38-2
 営業時間 / 10:00~18:00
 定 休 日 / 月、火、第2・第4日曜日
 T E L / 073-460-8137



- 13 気候変動による自然災害のリスク
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 15 緑の豊かさから中核を
- 8 働きがいも 成長できる
- 12 つくる責任 つかう責任

令和4年度 社会福祉施設 総合損害補償 しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設などに **スケールメリットを活かした割安な保険料で充実補償をご提供します!**

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

▶ 保険金額		賠償期間 1年	
	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)	
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

新型コロナウイルスを含む特定感染症に新たな補償が追加されました!
NEW 施設の感染症対応費用補償
 休業補償から各種対応費用までワイドな安心
 ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
 ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
 ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

- プラン2 施設利用者の補償
- プラン3 職員等の補償
- プラン4 法人役員等の補償



●この案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 〈引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉
 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)